

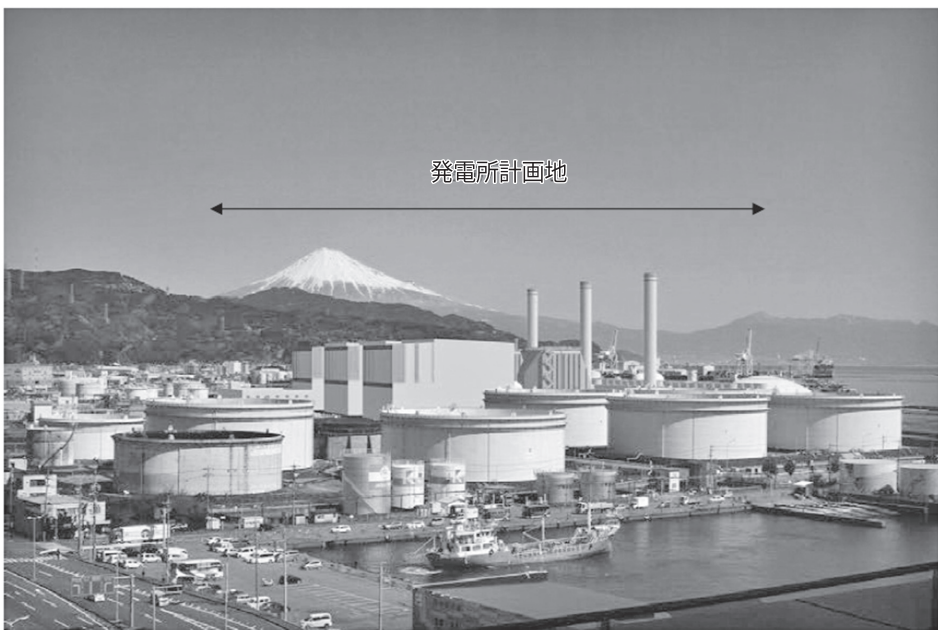
JR清水駅東口
110万kw

清水の
中心部に

巨大火力発電所建設計画は中止を！

東燃ゼネラル(株)は、清水駅東口に当初200万キロKW、その後170万KW、H28年8月に110万KWに変更し、LNG火力発電所建設の準備を進めています。しかし、まちの中心に巨大火発建設は大問題です。

第4.2-8図(3) 清水テルサ (B案、煙突高さ80m)



※東燃の住民説明会配布資料より

巨大で不要

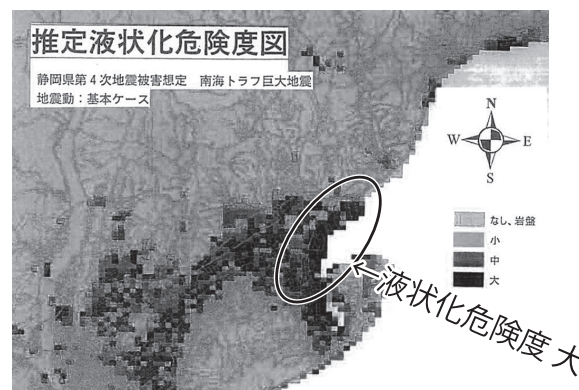
110万kWは国内最大級。一般家庭約200万世帯の電気をまかなえる巨大規模です。東燃は、電力販売を県外に求めるとしています。市民が利用しない巨大火発はいりません。

駅から400m まちの中心に！

予定地は人口密集地の清水駅から400m。中心市街化地域と隣りあわせの場所。事故を最小限に防ぐ緩衝帯はありません(諸外国は最低1.6Km離す基準あり)。しかも国際貿易港である清水港の玄関口です。



液状化・津波でキケンーコンビナート火災もー



建設予定地は埋立地。清水石油コンビナートのど真ん中です。南海トラフ巨大地震で、液状化危険度大と指定されており、配管が破断し引火すればコンビナート火災をおこし、周辺に甚大な被害が出るおそれがあります。

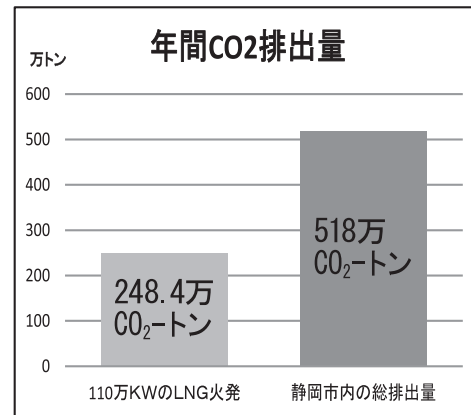
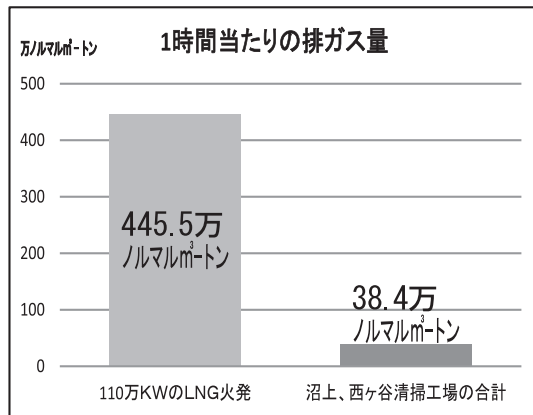
日本共産党 静岡市議会議員団ニュース
2016-No.9
清水LNG火力発電所 特集

日本共産党静岡市議会議員団
電話：054-254-2111(内線4541)
FAX：054-272-4695
メール：yksf5@jcpss.jp

巨大火力発電所は三大美港、富士山・三保松原、シラス・桜エビ 大切な自然資源と、市民のいのち・健康をおびやかす

大量の排ガス・CO₂は温暖化対策に逆行

巨大火発の排ガス量は、静岡市2か所の清掃工場の総排ガス量の11倍です。温室効果ガスCO₂の排出は、静岡市の総排出量を1.45倍にします。他に、喘息や肺がんの原因になるNO_x（窒素酸化物）を大量に排出します。市民の健康をおびやかします。



※議会答弁を基に作成

清水・由比両漁協も影響を懸念、県・市へ要望

巨大火発の冷排水は、-162℃のLNGを常温に戻すため大量の海水を使用することで3℃低い冷海水が1日24万トン放出が見込まれます。冷排水が桜エビ・シラス漁業に与える影響を懸念して、清水漁協、由比漁協は、県・市の環境影響評価審査会に影響調査の要望書を提出しました。
(H27・10・29)

巨大火発はさらに市民の健康・観光・漁業にも大きなマイナスとなります。

世界遺産もだいなしに

日本三大美港であり、三保松原は世界遺産。客船誘致にマイナス効果が心配されます。県と市は清水港港湾計画を基に物流だけでなく、市民の親水空間を設ける事業計画を進めています。貿易や観光を売りだす清水港の発展に大きなマイナスになります。



市民の安全を優先せよ!

日本共産党市議団はこう考えます

- ①巨大地震が想定され津波・液状化など安全への不安は増大、大量の排ガスで環境は悪化するおそれがあります。
- ②世界遺産の富士山の景観を壊し、観光客や大型客船誘致への影響など、マイナスの経済効果は計り知れません。
- ③新たな電力は、安全、クリーンで再生可能な自然エネルギーの普及をすすめます。